

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	里庄町放課後等デイサービス事業所「ほかほか」			
○保護者評価実施期間	令和8年2月3日		～	令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数)	18人
○従業者評価実施期間	令和8年2月16日		～	令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後児童クラブや地域の方との交流	地域のボランティアの方と農作業を一緒に行ったり、長期休みには放課後児童クラブのイベントに参加をしている。	地域の放課後児童クラブの職員と弊事業所職員が交流会を年に3回実施している。
2	子どもが体を動かして活動ができる広い空間	活動内容に応じて空間を区切るなど、ぶつかりやトラブルを防ぐ環境設定を行うとともに、子どもの人数や特性に合わせて小集団で活動できるよう調整している。また、子どもの発達や体調に応じて無理なく参加できるよう、声かけや見守りを行っている。	危険物の有無を職員が確認し、子どもが安心して活動できるよう安全な環境づくりに努める。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレント・トレーニング等の家族が参加できる研修会が行われていない。	家族の参加ニーズの把握不足。また、現状は支援や日常活動に重点を置いているため、研修会の企画が後回しになっている。	開催時期や、回数を職員間で話し合い、開催に向けて話を進めていく。
2	子どもの特性に応じた専門的支援の充実に向けて、さらなる職員のスキル向上や関係機関との連携強化が課題である。	特性に対する職員の専門的知識にばらつきがある。	職員の専門性向上に向けた研修機会の確保や、学んだ内容を現場で共有・実践する。
3			